別れの曲

大島健吾

［登場人物］
男１　　スターユニットのギター
女１　　スターユニットのボーカル
男２　　参列者の中の１人
葬式の参列者（複数名）

男１の遺影がかざってある。下手に男１、中央に女１、上手に参列者 。
参列者は、泣いている。

女１　　故人ナカノ様が生前活動した「スターユニット」の相方、私〇〇が、追悼を申し上げます。
男１　　ん？　あれ？
　　（遺影を見て）うわ、あほな顔やなー。白黒や。遺影か。
　　なんや、〇〇、そんな格好して。葬式か。
女１　　ねえ、ナカノ、もうナカノと歌うことは、できないんだね。
男１　　なにいっとんねん、明々後日はライブや。
女１　　あのオモローなモノボケも見れないんだね。
男１　　こんなところで？ みんな見てるし・・・ 遺影か！　葬式か！　イエー！

参列者が泣いている。

男１　　……つっこんで。
女１　　おい、ナカノ。
男１　　おそ！
女１　　もう、あのオモローな小話はきけないんだね。
男１　　だから、振んなよ…… 小さくつかんで、小さく離す。これホントの「小離し」

参列者が泣いている。

男１　　……たのむつっこんで。
女　　信じられないよ。
男１　　俺が信じられない。
女１　　ナカノがこの世にいないなんて。
男１　　なんでやねん！！！

……ん？　え、今なんて？　おーい、○○？
女１　（反応せず）でも、ナカノ、死んじゃったんだね
男１　……え、まじで？　これ俺の葬式？　これ遺影か！
女１　これはナカノなりの……ギャグ？
男１　あほ、ギャグで死ぬか！
女１　トリプルアクセルで死ぬなんて。
男１　何その死因。え、何があったの？
女１　正直すべってるよ。トリプルアクセルなだけに。
男１　うっさいわ！
女１　ねえ、スターユニットはどうするの？　新曲は？　私、タイトル決めてたのに。
「ポニーテール数え歌」って。
男１　おれの最後の歌でポニーテールを数えるな。
女１　ねえ、覚えてる？　高校の文化祭。なつかしいね、二人の初めてのライブ。
男１　ああ、ぼろぼろやったな、ＭＣで笑いとらなあかんっていって、変なギャグやってな。
女１　私、あのギャグ、やるね。つっこんでね
男１　やめてやめて。
女１　……「おならのぷーさん」

参列者は泣いている。

女１　……すべっちゃった。
男１　そうだろうねえ！
女１　もう一度、やり直すね。
男１　やめてやめて
女１　……「おならのぷーさん」

参列者は泣いている。

女１　……突っ込んでよ。
男１　さっきから全力で突っ込んでるよ？
女１　このギャグは、おならの音とぷーさんという名前が重なっているから面白いのです。
男１　ギャグの解説をするな！
女１　なお、ナカノは「僕のおならで、たんぽぽの綿毛がふわり」ともボケていました。
男１　ああ、死にたい……あ、もう死んでる……
女１　ねえ、覚えてる？　上京して、初めてのライブ。
男１　ああ、あのとき作った曲は、今でも俺らの代表作やんな。
女１　あのギャグ、全然受けなかったから、封印してたよね。でも、今日くらい、いいよね。
男１　だから歌の話をしようよというか、やるな。
女１　どさんこどすこい！　どさんこどすこい！　どさんこどすこい！

参列者は、 泣きながら拍手をする。

男１　何この空気…
女１　（上を見て、大声で）届いてる？
男１　うわ、うるさ！　距離感、距離感 ！
女１　これは、北海道民でもないのに、どさんこを主張し、どすこいというから面白いのです。
男１　だから解説すんな。
女１　（大声で）どさんこどすこーい。はは、実は案外まだ近くにいるのかもね。
男１　そう、ここ！　距離感考えて！
女１　私って案外霊感強いんだよねー。（全然別の場所）この辺だね、ナカノ？
男１　全然霊感ないな！

参列者は、女１の向く方向に注目。ここにナカノが……などと言っている。

女１　（全然違う方向に）ナカノ、あのライブの後、ひどいこと言っちゃったね。
男１　こっちこっち ！　みなさんも！
女１　ごめんね、どさんこどすこいなんて全然面白くないなんていって。
　　どさんこどすこいなんて全然面白くないなんていって。
男１　繰り返すのはやめて！　というかこっちだから！
女１　ずっと謝りたかったんだ・・・ごめんね（泣く）。
男１　…いいよ。もう。でも、こっちだよ？
女１　でも、ナカノは屁をこきながら許してくれるかな。おならのぷーさんだもんね。

参列者は泣きながら、ぷーさん、などと言う。

男１　もうなんかすごい残念。
女１　（遺影にすがり）ばかやろう、ナカノ、ばかやろう、ナカノ、ばかのー
男１　なんでやねん！

誰も反応しない。

男１　……むなしい。
女１　（鼻水がぐちゃぐちゃで）ずびばぜん、とりびだじばじだ。

女１、居住まいを正して。

女１　……終わります。
男１　終わりかよ！

女１　　他にも、ナカノと歌えて本当に幸せだったこととか、毎日がキラキラしていたこと、ナカノの歌に対する熱い思い……たくさん話すことがあるけど胸がいっぱいでだめです。
男１　　それ話そうよ、最初から全部やり直すくらいの気持ちで。
女１　　最後に、ナカノを見送る別れの曲を
男１　　よっしゃこい！
女１　　やろうと思いましたが、ギターを忘れたので、別れのギャグをやります。
男１　　そうきたかー
女１　　みなさんも、ご唱和ください。
女１　　どさんこどすこい！
参列者　どさんこどすこい！
男１　　みなさん？

溶暗しつつ、男１の体にぼんやりと光があたる。

男１　　え、これ成仏？　おれ、どさんこどすこいに未練あったの？　なにその潜在意識！　まあ、みんな、元気でねー……。なわけないだろ！

暗転。 暗転の中で。

男２　　あほかー　！

明転。
男２は女１をおもいっきりどつく。

女１　　いてっ！　オオシマ？
男２　　こんなんで成仏できるか！
女１　　オオシマ？
男２　　はあ、何いってんの？　俺はナカノだって、ん？　あれ？
女１　　オオシマ？

参列者がざわつく。

男２　　（体を眺めまわし）乗り移ってる……

暗転。
明転すると、女１と男２。男２はギターを持っている。

男２　　（新曲のメロディ）～♪ これ、歌詞、かけそう？
女１　　うん、かく。

男２　　最後のライブの、最後の新曲だから、頼むわ。
女１　　…ライブがおわったら、いっちゃうんだね。
男２　　おう。それくらいが限界らしいで。あさってのライブまでや ところで、歌詞、どんなの書くの？
女１　　え？　ポニーテール数え歌だけど。
男２　　俺の最後の歌で、ポニーテールを数えるな！
女１　　いや、まずきいてよ。♪ポニーテール１本、２本、３本、４本、５本、６本〜
男２　　まてい！
女１　　え、なんで？　最終的には３０本くらいまでいくよ？
男２　　いや、そうじゃなくて。
女１　　やろうと思えばまあ１００本くらいまでは。
男２　　本数の問題じゃないから。
女１　　あ、じゃあ、パンチパーマ数え歌は？
男２　　数え歌から離れてくれ。
女１　　うーん。数え歌以外のイメージがわかない……
男２　　前の頭はどうなってねん！！！
　　……あーなんか楽しいなー。
女１　　何が？
男２　　歌詞を書くとか、ギターを弾くとか。こんなに楽しかったんだな おれ、お前と音楽できてよかったよ。
女１　　なに、いきなり。
男２　　なあ、あの世って、歌あるのかな。ギターはあるかな。
女１　　あるよ。
男２　　あと、餃子とビール！　というか王将！　王将ラーメンセット！
女１　　あるよ、絶対。
男２　　なさそうだなー、死んだ後に王将とか聞いたことないもんな、あ、王将行こう、王将！
女１　　……もうちょっと練習しようよ。
男２　　わかったよ、じゃあ、「大切なもの」

女１と男２は歌い出す。暗転。
明転すると、女１とギターを持った男２が立っている。

女１　　……はい。オオシマをヘルプに招いてやってきたライブもラスト１曲です。スターユニット、最後の曲です。「ポニーテール数え歌」改め、「たんぽぽが咲く頃」。

歌いはじめる。

「たんぽぽが咲く頃」
たんぽぽ　綿毛がゆれる

やさしい風が吹くよ
けんかもしたけど 笑いながら　歌とギャグを作った
ありがとう私　あなたの歌と世界が　すきだよ

春がきて　たんぽぽの　綿毛が
この空舞う頃
思い出す　キラキラ光る日々を
さよなら　どさんこどすこい

風にのり　ひびく　私のもとに聴こえる

春がきて　たんぽぽの綿毛が
この空舞う頃
風にのって　あなたのやさしい音
きこえる　どさんこどすこい

降り注ぐ光　季節がめぐって
たんぽぽの花が咲く頃きっと
あなたのにおいを感じる
さよなら　どさんこどすこい
さよなら　どさんこどすこい
ありがと　どさんこどすこい

暗転。
明転すると、女１と男２、そして男１が立っている。

男１　　あー、結局なんか変な歌になっちゃったな。この歌が、おならのぷーさんをモチーフにしてるって誰も気づかないだろうなあ。あなたの、においを、感じる～。

男１は、自分の体を見ながら

男１　　お、戻ってる。
男２　　ん？　俺は何を？
　　……やたらうさんくさい関西弁をしゃべっていた気が。
女１　　ナカノ？
男２　　ん？　ナカノ？？？
女１　　あ、オオシマ……。
男２　　うわなんか、いきなりすげーがっかりされた。
女１　　いっちゃったんだね（鼻水をすする）

男２　　うわ、きたな。（ティッシュをさがして）あれ？ なんだこれ。
女１　　みせて！　……楽譜だ。「別れの曲」（歌う）。新曲？

女１が楽譜を裏返すと、手紙が書いてある。

手紙　　「どうでもいいが、次のギャグはメンソーレメンタームでたのむ」
女１　　どうでもいいな！

手紙　　「音楽、つづけろよ。その歌、歌ってくれたらうれしい。」
女１　　ナカノ……。この辺？　この辺でしょ？（やっぱり違う場所）

手紙　　「せっかくだから、どさんこどすこいで見送ってくれ」

男１は女１の頭をなでる。女１は、何か感じて、頭をおさえる。

女１　　……どさんこどすこい！
　　つっこんで！
男２　　え？

女１がツッコミを待っている。

男２　　あ、ええと…なんでやねん！
女１　　どさんこどすこい！
男２　　なんでやねん！
女１　　どさんこどすこい！
男２　　なんでやねん！

男１にぼんやりと光があたりつつ、だんだん暗くなってく。

終わり。